



正面ファサード



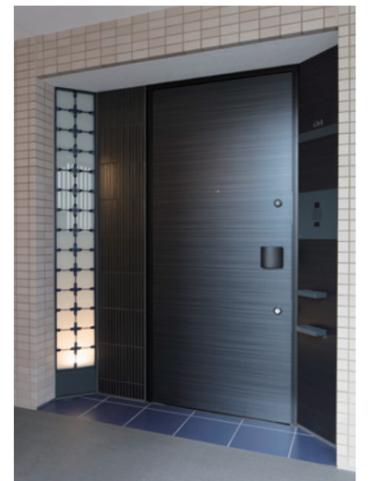
既存パーツを組み合わせたパーテーションとメモリアルコーナーのあるラウンジ



通りに大きく開いたエントランス



青色に塗られた四谷コーポラス住戸玄関



ねじれ格子と青色を継承した新住戸玄関

ATLAS 四谷本塩町

竣工年: 2019
 所在地: 東京都新宿区本塩町 10-1
 用途: 共同住宅
 敷地面積: 996.52 m²
 建築面積: 596.81 m²
 延床面積: 3,969.18 m²
 構造: RC造
 規模: 地下1階、地上6階

アトラス四谷本塩町は1956年に日本初の民間による分譲住宅として建設された「四谷コーポラス」の建て替えである。計画に際し、地権者の意向を反映した独自のプランを作成し、事業者としてのデベロッパーを選定することで、かなりの短期間で等価交換による建て替え事業が実現した。「四谷コーポラス」は当時としては画期的なメゾネットを多くの住戸に採用しており、1952年に完成した、コルビュジェによるマルセイユのユニテ・ダピタシオンの影響を受けていたのではないかと推測する。「四谷コーポラス」の特徴的な青色のねじれ格子を持つ玄関廻りのデザインを、同コーポラスのDNAとして継承すべく、アトラス四谷本塩町の玄関脇の行灯格子に組み込んでいる。また、既存のパーツを解体時に保存し、ねじれ格子と鉄扉で構成されるパーテーションとして共用部のラウンジに新たに設けている。ラウンジは旧地権者と新しく入居される方々が気軽にお茶を飲み、仕事もできる交流空間として位置づけ、パーツや竣工年に発行された図書を展示した「四谷コーポラス」の記憶を継承するメモリアルコーナーも設けている。